



## 👁️👁️ みどころ

『愛の渦』（14年）は、閑静な住宅街にあるマンションの一室に集まる、セックスがしたくてたまらない人たちの青春群像劇だったが、本作は新宿にあるラブホ「HOTEL ATLAS」に集まるさまざまな男女やカップルたちの青春群像劇。そこで展開されるさまざまな人生模様と、一夜明けての再出発の姿は、メチャ面白い。

「公訴時効」完成直前のドタバタ劇も、韓国映画『悪魔は誰だ (MONTAGE)』（13年）や『殺人の疑惑』（13年）とは全く異質の面白さだ。法科大学院の授業では決して学べない、貴重な人生模様を本作でしっかりと・・・。

— \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \*

## ■□■あれも「青春群像劇」なら、これも「青春群像劇」！■□■

シネ・ヌーヴォーで9月11日に観た『シュトルム・ウント・ドラックツ』（13年）は、大学の第2外国語でドイツ語を履修した人なら、そのタイトルの意味が「疾風怒濤」ということがわかるはず。「疾風怒濤」とは、18世紀後半、ドイツに起こった若いゲートを中心とする革新的文学運動であり、理性中心の啓蒙主義に反対し、自然・感情・天才を重んじたもので、クリンガーの劇の題名に由来するものだ。もっとも、それがわかって、何の映画かはサッパリわからなかったが、観て驚いたのは、これはギロチン社に結集する無政府主義者（アナーキスト）たちの青春群像劇だったということだ。

1923年9月1日に発生した関東大震災に便乗して、朝鮮人の虐殺や無政府主義者・大杉栄の虐殺があったことは歴史上有名な事件だが、そんな時代であっても、アナーキストたちの青春群像劇があったことは何とも面白い（『シネマルーム33』241頁参照）。

他方、3月8日に観た『愛の渦』（14年）は、閑静な住宅街にあるマンションの一室の「男2万円、女1千円、カップル5千円」をうたい文句とした、セックスがしたくてたまらない人たちが集まる場所における、青春群像劇だった（『シネマルーム32』未掲載）。しかして本作は、新宿の歌舞伎町にあるラブホテル「HOTEL ATLAS」を舞台とした青春群像劇。つまり、あれも「青春群像劇」なら、これも「青春群像劇」ということだ。

## ■□■まずは店長と、その恋人の「生態」から■□■

本作は廣木隆一監督がメガホンを取って、話題作に引く手あまたの若手俳優・染谷将太と、『もらとりあむタマ子』（13年）（『シネマルーム32』125頁参照）や『Seventh Code（セブンスコード）』（13年）（『シネマルーム32』未掲載）で高い評価を受けた元AKB48の前田敦子が初共演したオリジナル作品。というのがうたい文句。たしかに本作には、歌舞伎町にあるラブホ「HOTEL ATLAS」の店長をしている高橋徹（染谷将太）と、同棲しているミュージシャン志望の女性・飯島沙耶（前田敦子）が登場し、ストーリーの方向性を決めるかのように見える。しかし、実はこれは「HOTEL ATLAS」に出入りするさまざまな男女や、さまざまなカップルのうちの1組の「生態」にすぎない。



● 2014『さよなら歌舞伎町』製作委員会

徹は本来一流ホテルのフロントマンになることを目指していたが、思うようには進めず、今の有り様。したがって、ホントの勤務先は沙耶には言えないままらしい。他方、沙耶の方もレコード会社からメジャーデビューがかなうかもしれないと言われているのだが、窓際で弾いているギターの腕前を見ていると、さて・・・？そのうえ、朝っぱらから沙耶が「ねえ、しよ、して」と仕向けても、率直にそれに乗ってこない徹を見ていると、この2人はちょっぴり倦怠期にあるようだ。

早朝の「じゃれ合い」を終え、徹が自転車の後ろに沙耶を乗せて駅に向かったのはいいが、勤務先を悟られないためには、途中で沙耶を降ろす必要が・・・。

## ■□■さまざまな男女やカップルの「人生模様」が・・・■□■

本作は「ラブホ」を拠点としたさまざまなカップルや男女の青春群像劇なので、そこを舞台としていかに面白いネタを提供できるかが生命線となる。しかして、本作には次のような男女やカップルたちの人生模様が描かれる。

①明後日、日本を出国し、韓国で母とブティックを開く予定の韓国女性イ・ヘナ（イ・ウンウ）と、日本料理店を開くつもりだが、そのための資金が貯まらず未だ帰国できずにいる恋人のアン・チョイス（ロイ）との人生模様。

②「HOTEL ATLAS」の清掃係として働く中年の女性・鈴木里美（南果歩）と、里美が出かけた後も何かに怯えたようにひっそりと暮らしている中年男・池田康夫（松重豊）との人生模様。

③アン・チョイスには内緒で、「HOTEL ATLAS」を拠点にデリヘル業に励むヘナと、ヘナに惚れ込んでいる日本人の客・雨宮影久（村上淳）との人生模様。

④AV女優として働く高橋美優（樋井明日香）が、AVの撮影場所となった「HOTEL ATLAS」の部屋に出向くと、ピザを届けにきた兄の徹と鉢合わせをしてしまうことによって見えてくる人生模様。

⑤風俗嬢のスカウトマンの仕事をしている若者・早瀬正也（忍成修吾）と、そのターゲットとして「HOTEL ATLAS」に連れてこられたホームレス同然の女子高生・福本雛子（我妻三輪子）とのちょっと風変わりな純愛模様。

⑥共に警察官でありながら、不倫カップルとして「HOTEL ATLAS」に泊まりで入ってきた藤田理香子（河井青葉）と新城竜平（宮崎吐夢）が、「HOTEL ATLAS」内でチラリと見かけた清掃係の里美が、かつて起きた強盗致傷事件の容疑者として指名手配されている柏木桐子に似ていることに気づいたことから始まるドタバタの人生模様。

⑦メジャーデビューするための「枕営業」として、レコード会社の有力者・竹中一樹（大森南朋）と共に背中にギターを背負って「HOTEL ATLAS」に入った沙耶と徹が鉢合わせしたことから始まる2人の新たな恋愛模様。

## ■□■この女優が、あの『メビウス』の女優と同じとは！■□■

新宿歌舞伎町には中国人や韓国人が多いのが特徴だが、キム・ギドク監督の『メビウス』

(13年)で、あっと驚く一人二役のものすごい演技をした女優イ・ウンウ(『シネマルーム35』参照)が、本作では何とも健気でかわいらしいデリヘル嬢ヘナ役を演じているので、それに注目!「テアトル梅田」の男性用トイレには今、『メビウス』でイ・ウンウが演じた男性器を切り取った女が、鬼気迫る顔で「一步前へ!そうしないとチョン切るわよ」と迫っているが、これがヘナと同じ女優?

なるほど、同じ女優だと納得できるのは、『メビウス』の愛人役の方で見せてくれた大胆なヌード姿と、本作後半でアイマスクをしたままアン・チョイスと一緒に入る浴槽の中で見せてくれる大胆なヌード姿を比べた時。なるほど、このオッパイの大きさ、形は、両者とも同一人物だと納得・・・。

## ■公訴時効のテーマもコミカルに・・・?■

去る8月9日から11月まで、シネ・リーブル梅田とテアトル梅田で開催された「容赦なき韓国映画2014」では『悪魔は誰だ(MONTAGE)』(13年)(『シネマルーム35』参照)と『殺人の疑惑』(13年)(『シネマルーム35』参照)の2本で、「韓国三大未解決事件」の1つである「イ・ヒョンホ誘拐殺人事件」を題材とした、殺人罪の公訴時効15年が迫る中で起きるサスペンスドラマが、韓国映画特有の緊張感を持って描かれていた。しかして、本作でも

- ①アパートの一室で1匹のアジを2人で分け合って食べる鈴木里美と池田康夫の姿(これは、2匹のアジの残骸をゴミで出すと、アパートの管理人から怪しまれるため)
- ②来客がドアを叩くと、さっと押し入れの中に隠れる康夫の姿
- ③里美が仕事に出た後、ヘッドホンをつけてテレビを観ている康夫の姿が登場するが、これは一体なぜ?

他方、不倫カップルの刑事・藤田理香子と新城竜平の2人は、「HOTEL ATLAS」のフロントで里美の顔を見た理香子が「どこかで見た顔だな」と語ったところから、思わぬドタバタ劇に入っていく。「あ、わかった」と小さく叫んだ理香子が自分のスマホで調べてみると、「あったあった」。今、目の前で見た女は、強盗致傷事件で康夫とともに容疑者として指名手配されている女・柏木桐子なのだ。公訴時効の完成は明日。すると、今すぐ署に連絡しなければ・・・。理香子はそう言ったものの、竜平が言うように冷静に考えてみれば、「今の俺たちの状況」をどのように署に報告するの・・・?刑事としての任務の遂行が先?それとも、あえて自分から不倫をバラすようなバカなことはせず、万事なるようになればいいの?

同じ「公訴時効」というテーマを扱っても『悪魔は誰だ』や『殺人の疑惑』のようなサスペンス性とは全く違う本作のコミカルな描き方を、しっかり味わいたい。

## ■一夜明けると、再びそれぞれの人生模様が・・・■

『愛の渦』は、閑静な住宅街にあるマンションの一室を舞台にくり広げられる4人の男、4人の女、1組のカップルの青春群像劇(?)だった。マンションの一室に集まった10人の男女は互いに知り合い、セックスをくり返しながらいち晩を過ごした後、



● 2014『さよなら歌舞伎町』製作委員会

再びそれぞれの人生に戻っていったが、本作でもそれは同じだ。廊下に出てきてまでSM変態プレイを楽しむ、変態カップルを見た徹がキレてしまったのは納得できる。そこで徹は「こんなホテル辞めてやる!」「俺はこんなところで店長をしているような人間ではないんだ」「何が何でも一流ホテルのフロントマンになってやる!」と叫んでいたが、さて彼の實力の程は?

他方、竹中から「どうするの?」「別に今俺は女に不自由してないし・・・」と言われた沙耶は、さすがにホテルで出会った徹に対して申し訳ないという気持ちもあって、「枕営業」は中止したようだ。さあ、そうなると、沙耶のレコードデビューはどうなるの?前田敦子がAKB48のセンターとして絶大な人気を得ることができたのは「実力プラスα」があったことだが、さて本作にみる沙耶の實力は・・・?「HOTEL ATLAS」でのハプニングを終え、一夜明けた後の徹と沙耶には良くも悪くも、新たな人生模様が始まるわけだが、さて本作に登場したさまざまな男女、カップルたちの、一夜明けた後の人生模様は・・・?

神戸学院大学大学院の金益見さんが、大学生時代から博士課程まで「ラブホテル」をテーマに研究を続け、「ラブホ研究論文」をまとめたが、それは一体なぜ?それと同じように、徹が店長を務めていた新宿のラブホ「HOTEL ATLAS」で展開されるさまざまな人生模様は、法科大学院では教えてくれないけれども、弁護士を目指す人間には不可欠な、人間観察のネタが山ほど詰まっている。したがって、私はこんな映画も法科大学院の教材として活用してもらいたいと願っているが、さて・・・。

2014(平成26)年12月11日記